

一般区分・特別エリア区分共通

No.1(共通)

## 令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

|      |                      |      |        |         |
|------|----------------------|------|--------|---------|
| 応募概要 | 分野                   | 音楽   | 種目     | オーケストラ等 |
|      | 応募区分                 | 一般区分 |        |         |
|      | 複数応募の有無              | 無    | 応募総企画数 |         |
|      | 複数の企画が採択された場合の実施体制 ※ |      |        |         |

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

|           |                            |  |   |   |
|-----------|----------------------------|--|---|---|
| 文化芸術団体の概要 | ふりがな                       | こうえきざいだんほうじん こうべしみんなぶんかしんこうざいだん                                    |   |   |
|           | 制作団体名                      | 公益財団法人 神戸市民文化振興財団  |   |   |
|           | 代表者職・氏名                    | 理事長 服部 孝司  |   | 団体ウェブサイトURL   |
|           |                            |  |   | <a href="https://www.kobe-bunka.jp/">https://www.kobe-bunka.jp/</a>                   |
|           | 制作団体所在地                    | 〒 650-0017   | 最寄駅(バス停)  | 大倉山(神戸市営地下鉄)  |
|           |                            | 神戸市中央区楠町4丁目2-2神戸文化ホール内   |   |   |
|           | 制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック | <input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です              |   |   |
|           | ふりがな                       | こうべししつないかんげんがくだん   |   |   |
|           | 公演団体名                      | 神戸市室内管弦楽団  |   |   |
|           | 代表者職・氏名                    | 音楽事業部長:森岡めぐみ   |   | 団体ウェブサイトURL   |
|           |                            |  |   | <a href="https://www.kobe-ensou.jp/ensemble/">https://www.kobe-ensou.jp/ensemble/</a> |
|           | 公演団体所在地                    | 〒 650-0016   | 最寄駅(バス停)  | 高速神戸(神戸高速鉄道)  |
|           |                            | 神戸市中央区橘通3丁目4-3 あすてつぷKOBE5階   |   |   |
|           | 制作団体 設立年月                  | 1981年  |   |   |
|           | 制作団体組織                     | 役職員  | 団体構成員及び加入条件等  |   |
|           |                            | 理事長:服部 孝司、専務理事:古川厚夫、常務理事:藤原宏行、ほか理事:7名、評議員:9名、監事2名                  | 音楽監督1名、首席コンサートマスター1名、コンサートマスター2名、楽団員23名、ステージマネージャー1名、ライブラリアン1名、事務局13名 |   |
|           | 事務体制<br>事務(制作)専任担当の有無      | 他の業務と兼任の担当者を置く   | 本事業担当者名   | 森本 真吾   |
|           | 経理処理等の<br>監査担当の有無          | 有  | 経理担当者   | 東中 千佳   |
|           | 本応募にかかる連絡先                 | メールアドレス  |   | 電話番号  |
|           |                            | <a href="mailto:morimoto@kobe-ensou.jp">morimoto@kobe-ensou.jp</a> |   | 0783617241  |

制作団体の実績

制作団体沿革・  
主な受賞歴

1981年、神戸市により「神戸室内合奏団」として設立。実力派の弦楽器奏者たちによって組織され、弦楽合奏を主体としながらも、管楽器群を加えた室内管弦楽団としての活動も活発に行う。これまでにゲルハルト・ボッセや岡山潔など音楽界の巨匠を音楽監督に迎え、国内外の第一線で活躍する指揮者・ソリストとの共演を重ねてきた。  
2018年より管楽器奏者が加入したことを機に、「神戸市室内管弦楽団」と改名。  
2021年には世界的なチェリストであり指揮者の鈴木秀美が音楽監督に就任し、古典派音楽を中心に質の高いアンサンブルの追求を続けている。定期演奏会の他にも、地域へのクラシック音楽普及や、音楽を通して地域の抱える課題に取り組むなど、公共の楽団としての活動も精力的に行っている。神戸文化ホールの特属団体。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。  
主な受賞歴は無し。

学校等における  
公演実績

◆過去7年間の子ども対象公演の実績  
【アンサンブル】  
2018年～2022年：子ども対象21公演、主催公演7公演。  
「こべっこファミリーコンサートシリーズ」商業施設における「こどもミニコンサート」、県民芸術劇場小学校公演（姫路市立勝原小学校、城北小学校）、あなたに贈る「夏休み子どもコンサート」、垂水区文化センター子どもコンサートシリーズ、主催「夏休み子どもコンサート」  
2023年：4公演。子どもミニコンサート、垂水区文化センター子どもコンサート、雲雀丘学園中高、神戸市立道場小学校  
2024年：3公演。県民芸術劇場「市立雲中小学校芸術鑑賞会」、ろうきん「夏休み子どもコンサート」、垂水区文化センター子どもコンサート  
  
【オーケストラ】：7公演  
2022年、2023年、2024年、2025年（継続中）：主催「夏休み子どもコンサート」、  
2022年～2024年：神戸市と協働によりインリーチ「泣いた赤鬼」（神戸市立小学校のうち希望校[4学年]を対象）  
2025年度以降も演目を変更し、インリーチ事業を継続予定。  
  
【アウトリーチ等】：179公演  
2019年度～2024年度、神戸市と協働により、神戸市立小学校全163校の高学年（小4～小6）に対し、アウトリーチを実施。（楽器1名+Pfの組み合わせ。）  
2023年度～：主催子どもコンサート寒冷企画として  
(1)市立特別支援学校へのアウトリーチ  
(2)市内図書館へのアウトリーチを実施。加えて、参加者公募によるワークショップを開催。  
2022～2023年度 西脇市小学校アウトリーチ（計6校）、実施。

特別支援学校等における  
公演実績

通常の弦楽四重奏等のほか、打楽器+ヴァイオリン+Sop+Pfの組み合わせで、学校側の多様なニーズを聞き取ってオリジナルのストーリーを制作、児童たちとも距離の近いアウトリーチを展開しています。  
  
2020年：神戸市立友生支援学校  
[以下、特に表記がない場合、神戸市立]  
2021年：いぶき明生支援学校（他3校はコロナ禍による中止）  
2022年：いぶき明生支援学校3回、青陽須磨支援学校3回  
2024年：いぶき明生支援学校、灘さくら支援学校  
2025年（予定）：兵庫県立のじぎく特別支援学校、いぶき明生支援学校、友生支援学校、市立盲学校

参考資料

|                        |     |  |
|------------------------|-----|--|
| 申請する演目のWEB公開資料         | 無   |  |
| ※公開資料有の場合URL           |     |  |
| ※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード | ID: |  |
|                        | PW: |  |

別添

あり

【公演団体名 神戸市室内管弦楽団 】

|                  |   |   |          |   |
|------------------|---|---|----------|---|
| 対象               | 小学生(低学年)  | ○ | 小学生(中学年) | ○ |
|                  | 小学生(高学年)  | ○ | 中学生      | ○ |
| 企画名              | 子どもたちに贈る「音楽の宝石箱」  |   |          |   |
| 企画のねらい           | <p>神戸市室内管弦楽団は、弦楽器と管楽器と打楽器が満遍なく編成されたオーケストラ15名と、声楽2名の個性的な組み合わせにて、企画いたしました。</p> <p>この編成の狙いは、小規模校から大規模校まで学校にかけのご負担が多くななくバランスよく対応が可能な人数であり、かつ室内楽アンサンブルの精緻な音像と、オーケストラの基本的パートが揃っているうえ声楽付きの迫力がバランスよく伝わる、記憶に残りやすい編成であることです。</p> <p>室内管弦楽団に声楽(ソプラノとバス(バリトン))を組み合わせることにより、音楽＝「器楽・オーケストラ」の枠に収まらず、人間の音楽の根源的な”声”も使用した、声楽付きのオーケストラ音楽の派遣を意図しました。</p> <p>これによりひとつの枠に収まらない、バラエティーに富んだ音楽の奥深さを体感して頂き、ヴェルディ「椿姫」より”乾杯の歌”のような、ストーリー付き音楽がたくさんあることも知って頂き、音楽を通して多様な視点、豊かさを実感していただきます。</p> <p>そしてジェンダー平等社会も意識し、女性作曲家、エイミー・ビーチ「仮面舞踏会」も入れ、性別にとらわれず可能性を感じさせることをねらいました。そしてさまざまな楽器特性の個性が伝わりやすい曲も世界各国から選んで配置し、興味関心を惹く工夫をしています。</p> <p>また、司会を声楽出演者2名にすることで、出演者自らの専門的な視点を入れた臨場感ある進行により、児童・生徒がより公演に自然に入りこめる要素を加味しております。</p> <p>そして児童・生徒との共演を通じ、音楽を「聴く」から「参加」できるものとして”感じる”部分を重視し、長く記憶に残るコンサートをねらいとしています。</p> |   |          |   |
| 演目概要・演目選択理由      | <p>ひとつの枠に収まらない、音楽の奥深さを体感して頂きますため、興味を惹くような名曲～声楽付きの楽曲、日本を含む様々な国の作曲家などをバランス良く選びました。</p> <p>楽器紹介では、弦楽器→木管楽器→金管楽器・打楽器の順に紹介し、声楽の声の高さの違い、なども紹介します。</p> <p>地域性も考慮に入れ、冒頭の日本人團伊玖磨の作品から始まり、ロシア・ヨーロッパ・南米、最後のアンコールで世界中を旅して戻り俯瞰する気持ちに浸れる、ホール・ニューワールドを入れています。</p> <p>主役になる楽器の違いによる演目を演奏し、児童・生徒に「アンサンブルの重なり」を伝え、教育的配慮を行いながらも、ファンタジーの世界、踊り出したくなる曲、楽しくなる演目を中心に選択しています。</p> <p>また、コストパフォーマンスを抑えることができる編成で学校に行く事により、駐車場や控室問題などの学校側の負担を軽減し、関わる全ての人が満足する演奏会を目指しています。</p>  |   |          |   |
| 児童・生徒の参加または体験の形態 | <p>【ボディーパーカッションの共演】(小学生向け)</p> <p>キューバのラテン音楽”マンボ”のリズムパターンを体感しながら、掛け声も入る同曲で様々な角度の音楽を感じて頂きます。</p> <p>【指揮者体験コーナー】(中学生向け)</p> <p>緩急の差が激しく、指揮体験に向いている「ハンガリー舞曲第5番」を生徒の代表3名に体験して頂きます。音楽は指揮者により影響が大きいことを理解して頂きます。</p> <p>【共演曲コーナー】(小中学校共通)</p> <p>学校が演奏して欲しい曲リクエストを、本番当日仕様に編曲致します。全児童・生徒によるその場での合唱が基本ですが、リコーダー・器楽クラブや吹奏楽部、合唱部さんとの共演の形も可能です。</p> <p>【校歌】ピアノ伴奏譜を編曲することで、オーケストラ伴奏で校歌と一緒に歌ったり聴いたりできます。ご希望により、児童・生徒や学校の先生に指揮していただくことが可能です。</p>   |   |          |   |

|   |                               |   |      |           |          |  |
|---|-------------------------------|---|------|-----------|----------|--|
| 本公演・ワークショップの内容  | 児童・生徒の参加可能人数                  | 本公演   |      | 参加・体験人数目安 | 20名～600名 |  |
|   |                               |   |      | 鑑賞人数目安    | 20名～600名 |  |
|   | 本公演演目<br>原作/作曲<br>脚本<br>演出/振付 | ★ごあいさつ。日本から世界へ！オーケストラの音がどんな音か聴いてみよう！<br><u>1. 團 伊玖磨:祝典行進曲 〈小編成版〉 (6分) 日本</u>  |      |           |          |  |
|   |                               | 【楽器紹介】(10分)   |      |           |          |  |
|   |                               | 2. ★歴史上の名曲に触れながらカノンを感じよう！<br>[小学生]パッヘルベル:カノン (5分) ドイツ<br>★踊りたくなる、美しいワルツを弦楽で！<br>[中学生]チャイコフスキー:弦楽セレナーデより第2楽章”ワルツ” (5分) ロシア   |      |           |          |  |
|   |                               | ★妖精が跳ね回るようなかわいい様子を、木管楽器で！<br>3. メンデルスゾーン:「夏の夜の夢」より”スケルツォ” (5分) ドイツ<br>★金管楽器の迫力を感じてみよう！<br>4. アンダーソン:トランペット吹きの休日 〈小編成版〉(3分) アメリカ<br>【声の紹介】(3分)<br>★歌劇で使われるクラシック。ソプラノの切なる美しさを体感しよう！<br>5. プッチーニ:歌劇「ジャンニ・スキッキ」より”私のお父さん” (3分) イタリア ◇<br>★愛の告白、バリトンの力強さを感じてみよう！<br>6. ビゼー:歌劇「カルメン」より”闘牛士の歌” (5分) フランス ◆ |      |           |          |  |
|   |                               | —15分休憩—   |      |           |          |  |
|   |                               | ★モーツァルトの傑作より、コミカルな二重唱を！<br>7. モーツァルト:歌劇「魔笛」より ”パパパの二重唱” (3分) オーストリア ◇◆  |      |           |          |  |
|   |                               | 8. ★ハンガリー語で「酒場」を意味する超絶技巧！<br>[小学生]モンティ:チャルダッシュ (5分) イタリア<br>★アメリカの女性作曲家の色彩豊かで情熱的なワルツ<br>[中学生]エイミー・ピーチ:仮面舞踏会 (5分) アメリカ   |      |           |          |  |
|   |                               | 9. [小学生](ボディパーカッション共演) ベレス・ブラード:マンボNo.5 (6分) キューバ<br>[中学生](指揮者を体験してみよう！) プラームス:ハンガリー舞曲第5番 (6分) ドイツ<br>★人生の喜びをを高らかに歌おう！<br>10. ヴェルディ:歌劇「椿姫」より”乾杯の歌” イタリア (4分) ◇◆   |      |           |          |  |
| 11. 共演曲コーナー [器楽クラブ、リコーダー、吹奏楽、合唱部等との共演希望があれば、すべて対応可能] (4分)         |                               |   |      |           |          |  |
| 12. 各校校歌 (3分)   |                               |   |      |           |          |  |
| enc. アラン・メンケン/ティム・ライス :ディズニー映画「アラジン」より ホール・ニューワールド (4分) (日本語版) ◇◆ |                               |   |      |           |          |  |
| (◇)=ソプラノ歌手出演曲<br>(◆)=バス(バリトン)歌手出演曲                                |                               |   |      |           |          |  |
|   |                               | 公演時間  | 約100 | 分         |          |  |
| 出演者   |                               | 指揮者1名：中田延亮、横山奏、中井章徳、木許裕介、森脇涼(全員、交渉中。)<br>司会：神戸市混声合唱団 出演者2名<br><br>神戸市室内管弦楽団15名、神戸市混声合唱団よりソプラノ1名、バス(バリトン)1名。<br><br>管弦楽編成(フルート1名、オーボエ1名、クラリネット1名、ファゴット1名、ホルン1名、トランペット1名、トロンボーン1名、打楽器奏者1名、ヴァイオリン4名、ヴィオラ1名、チェロ1名、コントラバス1名)   |      |           |          |  |
| 演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名       |                               | 別添1参照   |      |           |          |  |

|  |   |                                     |                                  |  |                                    |             |        |
|--|---|-------------------------------------|----------------------------------|--|------------------------------------|-------------|--------|
| 本公演・ワークショップの内容   | 本公演<br>従事予定者数<br>(1公演あたり)<br>※ドライバー等<br>訪問する業者人数<br>含む  | 出演者: 18 名<br>スタッフ: 6 名<br>合 計: 24 名 | 運搬                               |  | 積載量: 2 t<br>車 長: 6.4 m<br>台 数: 1 台 |             |        |
|  | 本公演<br>会場設営の所要<br>時間<br>(タイムスケジュール)<br>の目安  | 前日仕込                                | 無                                | 前日仕込所要時間   |                                    | 時間程度        |        |
|  |   | 到着                                  | 仕込                               | 上演   | 内休憩                                | 撤去          | 退出     |
|  |   | 9:00<br>※状況次第で8:30<br>入りの可能性あり      | 仕込み9:00～10:00<br>ゲネプロ10:30～12:00 | 13:30～15:10  | 15                                 | 15:10～16:15 | 16時30分 |
|  |   | ※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。              |                                  |  |                                    |             |        |
|  | 本公演<br>実施可能日数<br>目安<br><br>※実施可能時期につ<br>いては、採択決定後<br>に再度確認します(大<br>幅な変更は認められま<br>せん)。   | 6月                                  | 7月                               | 8月   | 9月                                 |             |        |
|  |   | 17日                                 | 7日                               | 20日  | 14日                                |             |        |
|  |   | 10月                                 | 11月                              | 12月  | 1月                                 |             |        |
|  |   | 11日                                 | 10日                              | 10日  | 11日                                |             |        |
|  |   | ※平日の実施可能日数目安をご記載ください。               |                                  |  | 計                                  | 100日        |        |
| 公演に係るビジュ<br>アルイメージ<br>(舞台の規模や演出<br>がわかる写真)<br><br>※会場条件につ<br>いて最低限必要<br>な条件がある場<br>合には、様式<br>No.4内「会場簡<br>易図面」を記載し<br>てください。 | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> </div> <div style="flex: 1; padding-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館の緞帳は、閉めていただける場合、楽器ケース等を置くスペースとして使用させていただく事があります。</li> <li>・鑑賞スペースの中央は、演奏者が演奏中に児童・生徒の中を通る可能性があるため、人が通れるスペースを空けてくださると幸いです。同じく、左右の体育館の壁からも人が通れるスペースは空けて頂けると助かります。</li> <li>・演目により演奏しない奏者の控えとして、演奏スペースの左右に20脚程度ずつ、奏者控え用の椅子を設置させて頂く場合があります。</li> <li>・ピアノは使用いたしません。予め、演奏スペースから離れた位置に移動をお願いいたします。<br/>(本番当日に入りましたスタッフが移動のお手伝いも可能です)</li> <li>・直射日光が演奏スペースに影響を及ぼす場合は、体育館両サイドの遮光カーテンの使用をご許可願う場合がございます。</li> </ul> </div> </div> |                                     |                                  |  |                                    |             |        |
| 著作権、上演権等<br>の許諾状況  | 各種上演権、使用权等の許諾手続の要否  |                                     | 該当あり                             | 該当コンテンツ名<br><br>團伊玖磨：祝典行進曲<br>アラン・メンケン：<br>ホール・ニューワールド<br>ペレス・ブラード：マンボNo.5 |                                    |             |        |
|  | 該当事項がある場合   | 権利者名                                | 音楽之友社ほか                          |  | 許諾確認状況                             | 採択後手続き予定    |        |

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名

神戸市室内管弦楽団

】

ワークショップの  
ねらい

## 【室内管弦楽団がやってくる！】

子どもたちは様々な地域性や家庭環境、身体状況など、必ずしもクラシックや演奏会に触れることのできる恵まれた環境に全員があるとは限りません。もしかしたら、人生で初めてのクラシック演奏会、そして最後になるかもしれない子どもたちも居ます。

それでも、このワークショップで直接、楽器や音楽、そして演奏家の人間性に触れた時、将来の選択肢に幅が生まれたり、文化的気づきにより、豊かな心が育まれる可能性があります。そのために、懇切丁寧に音の鳴る原理を分解・説明を行い、「体験」を重視したプログラムを作っています。ただ一度の本公演の前に、まず楽器やオーケストラに興味を持って頂き、本公演への興味・関心を惹いて頂くことをねらいとしています。

児童・生徒の  
参加可能人数

## ワークショップ

## 参加人数目安

特に制限なく調整可能  
※会場に対して人数が多い場合2回公演を実施。

ワークショップ  
実施形態及び内容

基本的には演奏家を5名、スタッフを1名派遣。

運搬可能な近畿圏内であれば「楽器体験コーナー」として、体験用ヴァイオリンを持参が可能です。

準じる地域の場合でも少台数で対応や、行わない代わりに演奏曲を増やすなど柔軟に対応いたします「45分×2コマ」を基本とし、吹奏楽部や合唱部指導などがある場合、「前半45分・後半45分部活指導」のような柔軟な体制が可能です。

弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の奏者2名～5名のアンサンブルを柔軟に組み、楽しんでいただけます。お借りできれば学校のプロジェクター、または大きな紙に書いた掲示等を使用し、視覚的に丁寧にオーケストラのことが伝わるよう進めます。

## 【各ワークショップ内容】

- 旋律と和音とリズムや動機の構造を感じ取りやすい楽曲を中心にミニコンサート形式で進めます。
- 各楽器の特性を丁寧に説明。「演奏楽器紹介」、「オーケストラで使う楽器の紹介」、「楽器体験コーナー」、「クイズ・質問コーナー」を中心に進め、本公演への興味・関心を惹きます。

## 1(弦楽四重奏)

モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジーク、ヴィヴァルディ:「春」または「冬」などを演奏。

楽器体験コーナーでは、当楽団から持参する体験用ヴァイオリン(最大10台まで)を用い、全児童・生徒に触れていただくことを目標にします。楽器体験を行わない場合は、代わりに演奏曲を増やしてカバーします。

## 2(木管五重奏)

イパール:木管五重奏曲やどこかで聴いた名曲、アニメなどで使われた曲を中心に演奏します。楽器体験コーナーは、主にフルートとリード楽器の原理についての理解を進めます。学校にエアリード(フルート)か、リード系(オーボエなど)か選択していただき、小瓶やストロー等を用いた体験コーナーを行います。

## 3(金管五重奏)

本公演で演奏する「トランペット吹きの休日」や、「威風堂々」「さんぽ」「聖者の行進」など、親しみやすい曲を中心に演奏可能です。楽器体験コーナーは、水道ホースで制作したトランペット(ホルン)を用いて原理を説明、マウスピースで代表の児童たちに楽器体験も可能です。特に器楽クラブや吹奏楽部をお持ちの学校にお勧めです。1コマのワークショップにして、後半は吹奏楽部指導のプランも可能です。

## 4(混合アンサンブル)

3～5名による弦、木管、金管、(打楽器)等を含む混成アンサンブル。「カルメン」より抜粋や、アイネ・クライネ・ナハトムジークほか、ディズニー等のアニメ音楽、ラテン系音楽など、フレキシブル編成ならでの自由な音楽で、各セクション楽器を紹介し、楽器体験は各セクションの内ひとつを選んで頂き、行います。

## 5(デュオ～トリオ)

デュオの場合、基本的には主担当楽器+ピアノ1名を派遣し、楽器体験コーナーも十分可能です。愛の挨拶や情熱大陸、ベートーヴェン:メヌエットほか、たくさんのレパートリーがあります。

## ★声楽つき

## 7(弦楽四重奏)+ソプラノ1名

上記1の弦楽四重奏の内容に加え、「歌」の説明もいたします。

ブッチーニ:「ムゼッタのワルツ」、グノー:「宝石の歌」などの著名なオペラアリアなど、ソプラノつきの名曲を演奏します。

## 8(弦楽四重奏)+バス1名

上記1の弦楽四重奏の内容に加え、「歌」の説明もいたします。

シューベルト:「魔王」、モーツァルト:「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」などの著名なオペラアリアなど、バス(バリトン)つきの名曲を演奏します。



**その他ワークショップに  
関する特記事項等**

- ・上記の中でも弦楽四重奏は、弦楽合奏団としての歴史も長い当楽団の看板となる、非常に精緻なアンサンブルを誇ります。レパートリーも非常に多く、ご満足頂けます。
- ・デュオに関しても同様で、昨年度までに神戸市内の小学校全163校を全て巡回しワークショップを行うなど、非常に豊富な実績と経験を持っています。
- ・声楽つきのワークショップは、姉妹団体として活動して普段から神戸市室内管弦楽団とのアンサンブルに通じている神戸市混声合唱団の団員を起用します。豪華なワークショップですので是非ご起用ください。
- ・状況に合わせて事前に十分なヒアリングを実施し、学校ごとのオーダーやリクエストに柔軟に対応が可能です。
- ・デュオ公演などでピアノを使用させていただきます場合、可能であれば事前に調律をお願いいたします。学校行事の音楽会などで調律を行う場合、近い時期に併せた開催も可能です。
- ・ワークショップ時には、学校のプロジェクター、スクリーン、マイク、長机をお借りできれば幸いです。ない場合も柔軟に対応しますので、ご安心ください。
- ・ヴァイオリンの楽器体験コーナー開催時は、机(児童用机でも長机でも何でも良い)を最大で10台、お借りする場合があります。木管・金管系の体験コーナーの場合は、長机を2～3台程度、お借りしたく存じます。
- ・木管の体験コーナー時、ストローで簡単なリード制作時にハサミを使用する場合がございます。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通  
No.4(共通)

|    |    |
|----|----|
| 別添 | なし |
|----|----|

【公演団体名                      神戸市室内管弦楽団                      】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。  
・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。  
・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。  
・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。  
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。  
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。  
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。  
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

|                 |   |         |                       |            |               |         |  |
|-----------------|---|---------|-----------------------|------------|---------------|---------|--|
| (必須)            | 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。  |         |                       |            |               |         |  |
| 会場の設置階の制限       |   | 2F以上応相談 |                       | 主幹引き込み電源容量 |               | 120 A以上 |  |
| 舞台設置面積          | 間口  | 11 m    | 奥行                    | 5.5 m      |               |         |  |
|                 | 高さ  | 2.3 m   |                       |            |               |         |  |
| 舞台設置場所          | フロア対応   | 可       | 学校のステージでの対応           |            | 条件が合えば可       |         |  |
| 搬入間口の広さ         | 幅   | 0.9 m   | 高さ                    | 1.8 m      |               |         |  |
| 遮光の要否           | 5割程度必要  |         | 緞帳の要否                 |            | あれば使用する可能性がある |         |  |
| ピアノの使用について      | 使用しない   |         | ピアノを使用する場合の設置位置の指定    |            | 条件なし          |         |  |
|                 |   |         | ピアノを使用しない場合の移動の要否     |            | 不要            |         |  |
| 搬入車両(トラック等)の横づけ | 応相談   |         | トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離 |            | 50 m以内        |         |  |
| 搬入車両の種類         | 中型トラック  |         | 台数                    | 1 台        |               |         |  |
| 搬入車両の大きさ        | 車幅  | 2.1 m   | 車長                    | 6.4 m      |               |         |  |
| 備考              | 遮光については基本的には全開放で行いますが、体育館内に陽光が射す時は、適宜遮光します。<br>搬入車両は2tロング車を手配いたします。 |         |                       |            |               |         |  |

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

|                                   |                               |  |
|-----------------------------------|-------------------------------|--|
| (任意)                              | 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。 |  |
| 会場図面の提出要否                         | 要                             |  |
| その他提出が必要な資料<br>(搬入間口や搬入経路の写真の提出等) |                               |  |



|         |  |  |                  |   |   |    |
|---------|--|--|------------------|---|---|----|
| 時間外対応   | (任意)   | 万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。 |                  |   |   |    |
|         | なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。                 |  |                  |   |   |    |
|         | ※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。 |  |                  |   |   |    |
|         |  | 対象   | 所要時間(分)          | 時間帯   | 内容  | 備考 |
|         | ワークショップ  |  |                  |   |   |    |
| ワークショップ |  |  |                  |   |   |    |
| 本公演     | 共演、参加又は体験対象となる児童・生徒  | 10分程度  | 10:30から12:00までの間 | 校歌を指揮したい児童・生徒がいらっしゃる場合、当日のゲネプロ時の校歌演奏時間だけ、指揮で参加して頂きたく存じます。<br><br>※なるべく休み時間に済むよう調整を試みますが、少しでも授業にかかってしまう可能性があります。 | 10:30～12:00までの間で、時間調整可能です。短い校歌でスムーズに指揮が進んだ場合、10分もかかりません。<br><br>※指揮が先生の場合でも、ゲネプロ時の校歌指揮にはお越し頂きたく存じます。          |    |
| 本公演     | 共演、参加又は体験対象となる児童・生徒  | 15分程度  | 10:30から12:00までの間 | 共演曲と一緒に演奏したい、器楽クラブ、吹奏楽部、合唱部等の皆さんは、当日のゲネプロ時に一緒に並び確認や演奏リハーサルを行いたいと思います。<br><br>※柔軟に対応いたしますが、少し授業にかかってしまう可能性があります。 | 座り、立ち位置確認と演奏になるので、多く見積もって15分程度見ておいて頂けると有難いです。早く終わる可能性もあります。<br><br>※可能であれば、部活動の顧問の先生もご同席して頂ければ有難いです。<br>(要相談) |    |

|        |      |   |  |
|--------|------|---|--|
| 個別確認事項 | (任意) | 上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。 |  |
|        |      | 個別ヒアリング事項   |  |
|        | 1    |   |  |
|        | 2    |   |  |
|        | 3    |   |  |

|        |      |                                       |  |
|--------|------|---------------------------------------|--|
| 会場簡易図面 | (任意) | 会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。  |  |
|        |      | ※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。 |  |
|        |      |                                       |  |

「  
体育館  
舞台  
」  
パネル

体育館  
フロア

鑑賞位置

体育館の舞台

舞台袖

設置舞台

舞台袖

スペースの確保が必要

設置舞台

スペースの確保が必要

鑑賞位置

鑑賞位置

フロア使用時

間口

後方

トラック

前方

11m

5.5m

2m

別添

なし

【公演団体名

神戸市室内管弦楽団

】

## 【本事業を通じて実現したいこと】

神戸市室内管弦楽団は、元々は実力派の奏者が集まった弦楽アンサンブル団体である「神戸室内合奏団」を発祥とし、ゲルハルト・ボッセや岡山潔など歴々の指導者を経て、2018年から断続的に管打楽器奏者が加わりました。現在は、音楽監督で日本を代表する古典・バロック音楽の雄である鈴木秀美指導のもと、さらなる高みに磨き抜かれた、美しく精緻なアンサンブルを特徴とする、室内管弦楽団です。

客演で招くどの指導者にも「オーケストラの反応や柔軟性が抜群で、素晴らしい」と絶賛される高い技量と想いを、これまでは主に神戸市や近郊の子どもたちに還元して参りました。

管弦楽団化して7年が経ち、「オーケストラの編成として」念願であった、周辺地域に還元する体制も整いました。創設以来一貫して続けてきた「青少年の健全育成の一助になる活動」と「原体験がクラシック文化の繁栄にも将来的に繋がる」という想い。

神戸が独自に培ってきた非常に精緻なサウンドと、練られた企画をもとに、強い使命感を持って地域の子どもたちに、これまでの全てを伝えていきたいと考えております。

そして今回は、神戸市混声合唱団より2名、演奏会に帯同する編成も大きな特徴としております。同合唱団とは年に一度は合同演奏会を行うほか、平素より演奏会で共演の機会が多く、姉妹団体として、音楽的には非常に手の内にある状況で演奏することになります。

客演で共演する演奏会ではなく、姉妹団体からの選抜により、ハイレベルのアンサンブルで音楽的融合が自然に為されるのは、大きなメリットになります。

上記のことから、音楽の基礎である「旋律」「ハーモニー」「リズム」に加え、歌劇など「ストーリー」に応じた音楽があること、当団ならではの美しく精緻なアンサンブルを見て「扱う楽器や声が違うけど、心を合わせれば」こんな美しい音楽になること、などを伝えることを今回は主眼に置いています。

公演を通して音楽への興味・関心の向上を目指すのは勿論ですが、さらに「力を合わせ、心をひとつにすれば、すごいことが生まれる」というメッセージが伝わり、生きるための知恵と勇気が備った人として、情感豊かな大人に育つための一助になりましたら、有難い思いです。

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

・ワークショップでは、メロディーとハーモニーとリズム、構造への着眼を進行に盛り込み、また演奏曲の背景やストーリーを、どの曲の時もしっかり丁寧に説明することを基本に、出演者たちと情報共有して参ります。オーケストラや室内管弦楽団の編成、声楽付きの場合、などケースに応じたビジュアル資料も準備し、プロジェクターまたは大きな紙で児童・生徒に伝わる丁寧な説明を心がけます。

・ワークショップ時に先生によく聞き取りをして、お困りごとや実現したい事、その学校毎の特長などをヒアリングし、きめ細やかに本公演に反映させます。  
併せ搬入経路や控室などの確認を通して、学校側との不安点を共有し、解消していきます。控室の数も、極力必要最小限で済むよう、実行して参ります。

・本公演では、普段から司会に慣れている、出演者でもある混声合唱団員自らが司会を行うスタイルにしております。クラシックへの造詣の深さに加え、歌う本人ならではの視点などが加味され、歌劇や曲の背景について分かりやすい言葉で説明、表面的ではない理解を得られるような工夫を凝らしております。また、通常司会者にかかる予算の削減にもつながっております。

・学校リクエスト曲については、BELIEVEなどの合唱曲を、オケと児童がその場で歌うことを想定しています。しかし、リコーダー共演、器楽クラブ、吹奏楽、合唱部など、様々な形態に応じた共演も可能です。共演希望の学校で、事前指導が必要な場合、ワークショップ時の後半に、出演者からの丁寧な指導をさせていただきます。

・校歌については、基本的には楽団の指揮者がそのまま務める予定ですが、ご希望があれば学校の先生や児童に指揮を頂くことも可能です。(但し、ゲネプロ時に指揮予定の方に、一度指揮のリハーサルに出て頂く必要がございます)  
また、演奏した楽曲の録音プレゼントのご相談も可能でございます。

本事業への応募理由等

事業を適切かつ  
円滑に実施するための  
工夫

【学校との連絡調整について】

・学校側のご負担をなるべく最小限に、その中で最大限の効果を目指すため、お忙しい学校の大変さも勘案して、最初のご挨拶→ワークショップ前→本公演前→本公演に至るまで、極力、ポイントで要点を整理し、業務に支障ない範囲での頻度かつ丁寧なリマインドを重ねながらお知らせするよう努力いたします。

・神戸市立全163校の小学校アウトリーチを始めとする多数の経験や、子ども芸術鑑賞会を開催した実績などの蓄積から、普段使用している「前準備→ワークショップ→本公演」までの流れを全て網羅した、分かりやすい「チェック項目マニュアル」がございますので、そちらを学校に予め送付いたします。

・やり取りは、電話だけではなく、文章で残すために同内容でも必ずメールをしており確実な情報共有を心がけております。学校の状況によっては必要に応じてFAX等も使用可能で、連絡漏れや認識違い等の齟齬をなくす努力を、徹底しております。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

・特別に配慮が必要な児童や生徒のケアも、留意して準備・進行いたします。

・配慮が必要な児童・生徒について事前に学校にも訊ね、ワークショップや本公演に於いて、事情ある子も参加しやすい空気作り、寄り添いなど、可能な範囲で柔軟な対応を行います。

・ワークショップでは、児童の並び隊形も柔軟に対応します。より奏者に近いところで息遣いを感じたい場合、扇形に取り囲むように並ぶなど、自由な形でご鑑賞いただくこともご提案の選択肢になります。

・また、本公演では、演者によっては児童の中に入っていけるように、中央分の通路を人が通れるだけ空けた配置でのご鑑賞を勧めております。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

・楽団側で「ふり返しシート」を制作し、公演終了時に学校にお渡しします。  
ワークショップについて感じたこと、本公演について感じたこと、それが今後、自分にとって音楽の授業を学ぶ上で、どう活かしてくるのか、児童自身に振り返って頂きたいと思います。

・MCやプログラムノートの曲解説欄に、演奏曲目(歌劇等の一部からの演奏)を、児童自身が全編通して聴いてみたくなるような案内を記載いたします。

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

| リンク先                           | No.2   | 【公演団体名 | 神戸市室内管弦楽団 | 】 |
|--------------------------------|--|--------|-----------|---|
| 別添1<br><br>演目上の芸術の中核となる者の名前と経歴 | <p>森脇涼【指揮】<br/>東京藝術大学音楽環境創造科中途退学。京都市立芸術大学指揮専攻を首席で卒業。併せて京都市長賞、京都音楽協会賞を受賞。びわ湖ホール、堺シテリオペラにて副指揮者、コレペティトゥアとして研鑽を積む。2023,24年度びわ湖ホール主催「阪哲朗オペラセミナー」指揮受講生。「びわ湖の春 音楽祭2024」において伴奏ピアニストとして出演。神戸市混声合唱団副指揮者。これまでに神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団を指揮する。指揮を阪哲朗、下野竜也、栗辻聡、中田延亮の各氏に師事。</p> <p>木許裕介【指揮】<br/>1987年生まれ、大阪府出身。小学校から高校まで兵庫県で学び、東京大学大学院総合文化研究科修了。東南アジアで数々の演奏会を指揮したのち、イタリアを中心に欧州で研鑽を積む。2018年、BMW国際指揮コンクール第1位優勝。以降、世界各地から招聘されグローバルな活動を展開。国内各地プロオーケストラと共演するほか、全国の大学オーケストラやユースオーケストラの指導育成に顕著な実績を挙げている。現在、エル・システムジャパン音楽監督、ベガジュニアアンサンブル常任指揮者、日本ヴィラ・ロボス協会会長などを務める。</p> <p>西尾恵子【コンサートマスター】<br/>大阪府枚方市出身。京都市立堀川高校音楽科(現・京都市立京都堀川音楽高等学校)卒業。東京藝術大学を経て同大学院修了後、ハンガリー政府給費生としてリスト音楽院に留学。ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団に第一ヴァイオリン奏者として在籍、帰国後兵庫県立芸術文化センター管弦楽団にフォアシュペーラーとして在籍。大阪フィルハーモニー交響楽団と、ブラームスのヴァイオリン協奏曲を共演。前田幸美、橋本寿子、岡山潔、ゲルハルト・ボッセ、アンドラーシュ・キシシュの各氏に師事。京都市立京都堀川音楽高等学校非常勤講師。枚方演奏家協会会員。現在神戸市室内管弦楽団首席ヴァイオリン奏者、千葉交響楽団契約首席第二ヴァイオリン奏者。</p> |        |           |   |
|                                |  |        |           |   |
|                                |  |        |           |   |